

**一人の新しい人のために、  
キリストをわたしたちの命、わたしたちのパーソンとして経験する**

聖書：コロサイ 3:1-4, 10-11

コロ3:1-4—こういうわけで、もしあなたがたがキリストと共に復活させられたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストがいて、神の右に座しておられます。あなたがたの思いを、地にあるものではなく、上にあるものに置きなさい。なぜなら、あなたがたは死んだのであり、あなたがたの命は、キリストと共に神の中に隠されているからです。わたしたちの命なるキリストが現される時、あなたがたも、彼と共に栄光のうちに現されます。コロ3:10-11—新しい人を着たのです。その新しい人は、それを創造された方のかたちにしたがって全き知識へと至るように、新しくされつつあるのです。その新しい人には、ギリシャ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開人、スクテヤ人、奴隷、自由人はあり得ません。キリストがすべてであり、すべての中におられるのです。

**I. わたしたちは、キリストをわたしたちの命、わたしたちのパーソンとして経験するために、わたしたちがキリストと一つの地位、一つの命、一つの生活、一つの運命、一つの栄光を持っていることを見る必要があります—コロサイ 3:1-4. 参照、Iコリント 6:17:**

- A. わたしたちの地位は、わたしたちがキリストの中にいるということです。わたしたちは、キリストの中にいるので、キリストがおられる所にいます。すなわち、神の右に座しているのです—コロサイ 3:1. ヨハネ 17:24. エペソ 2:6:
1. 御子の地位は御父の中にあります(ヨハネ 10:38. 14:10)。わたしたちは、御子の中にいるので(Iコリント 1:30 前半)、御父の中にいます(ヨハネ 14:20. Iテサロニケ 1:1. IIテサロニケ 1:1)。
  2. わたしたちは霊の中にいるとき、實際上また経験上、キリストの中におり、御父の中におり、天にいます:
    - a. 天のキリストから地上のわたしたちに対して、わたしたちの霊の中のすべてを含む霊によって、伝達が起こっています—エペソ 1:19, 22-23. 2:22。
    - b. 天の御座に座しているまさにそのキリストは(ローマ 8:34)、今やわたしたちの中に(10節)、すなわちわたしたちの霊の中にもおられます(IIテモテ 4:22)。この霊の中に神の住まいがあります(エペソ 2:22)。
    - c. 今日わたしたちの霊は、神の住まいの場所であるので、それは今や天の門です。そこにおいてキリストははしごであって、わたしたちを天に結び付け、天をわたしたちにもたらしめます—22節. 創 28:12-17. ヨハネ 1:51。
    - d. わたしたちは霊に戻るときはいつでも、天のはしごとしてのキリストを通して、天の門を通して入り、天にある恵みの御座に触れます。わたしたちの霊は神聖な伝達を受ける一端であり、神の御座は伝達する一端です—ヘブル 4:16。
- B. 神の命はキリストの命であり、キリストの命はわたしたちの命となりました—

ヨハネ 5:26. コロサイ 3:4 :

1. キリストがわたしたちの命であることが意味するのは、彼がわたしたちにとって極みまで主観的であるということです——ヨハネ 1:4, 14:6 前半, 10:10 後半, I コリント 15:45 後半, ローマ 8:10, 6, 11。
  2. 人とその人の命を分離することは不可能です。なぜなら、人の命は人そのものであるからです。こういうわけで、キリストがわたしたちの命であると言うことが意味するのは、キリストがわたしたちとなり、わたしたちが彼と共に一つの命と生活を持っているということです——ヨハネ 14:6 前半, ピリピ 1:21 前半。
  3. 信者たちの命としてのキリストには、この命と天然の命を区別する三つの特徴があります：
    - a. この命は、十字架につけられた命です——ガラテヤ 2:20。
    - b. この命は、復活の命です——ヨハネ 11:25。
    - c. この命は、神の中に隠されている命です——コロサイ 3:3-4, マタイ 6:1-6, 16-18。
- C. 上にあるものを求め、わたしたちの思いをその上に置くことは、自分自身を主の天の務め、すなわち主の神聖な事業と結合させることです。これは一人の新しい人のためにキリストを生きること、キリストの生活と一である生活をすることです——コロサイ 3:1-2, 10-11 :
1. 今日キリストは彼の天の務めにおいて、大祭司として生きて、諸召会のためにとりなしています——ヘブル 8:1, 4:14, 7:25, 4:16, コロサイ 4:2。
  2. 今日キリストは彼の天の務めにおいて、天の奉仕者として生きて、キリストの豊富を聖徒たちに供給しています——ヘブル 8:1-2, エペソ 3:8。
  3. 今日キリストは彼の天の務めにおいて、神の定められた御旨を完成するために神の行政の宇宙的な管理者として生きています——啓 4:1-2, 5, 5:6, 1:10-11 :
    - a. 天の御座から、神聖な伝達が上にあるものを諸地方召会の中へともたらしめず——エペソ 1:19, 22-23。
    - b. 啓示録第 4 章と第 5 章には中央政府のビジョンがあり、啓示録第 1 章から第 3 章には、「大使館」としての諸地方召会のビジョンがあります。七つの霊を通して、天の本部にあるものが大使館としての諸召会の中へと伝達されています。
    - c. 諸地方召会において起こることは、天の神の御座の導きの下にあるべきです。回復が「主の」回復であるために、それは彼の導きの下になければなりません——コロサイ 1:18, 2:19, 啓 4:2-3。
- D. わたしたちの運命は栄光です。キリストはわたしたちを栄光の中へと導いているのは、わたしたちが彼と共に栄光のうちに現されるためです——ヘブル 2:10, コロサイ 3:4。
- II. わたしたちの命は、わたしたちの内側に住むキリストであり、この命はキリストと共に神の中に隠されています。神の中に隠されているキリストは、金**

のつぼの中に隠されたマナによって予表されています——コロサイ 3:3-4. 出  
16:32-34. 啓 2:17 :

- A. 隠されたマナとしてのキリストは、金のつぼとしての父なる神の中におられます。御父は契約の箱としてのキリストの中におられ、キリストは神性と人性の二つの性質を持っています。内住する霊としてのキリストは、わたしたちの再生された霊の中に生きており、至聖所の実際となっています——参照、ヨハネ 14:16-20. II テモテ 4:22。
- B. わたしたちは隠されたマナとしてのキリストを食べるとき、彼の中へと合併されて神と人の相互の住まいとなります——ヨハネ 15:5, 7. 8:31. 6:57, 63. 14:23。
- III. **キリストがわたしたちの命であることが強く示しているのは、わたしたちが彼を命とし、彼によって生きるべきであるということと、わたしたちが日常生活において彼を生きるべきであるということです——コロサイ 3:4 前半 :**
- A. キリストは實際上、また経験上わたしたちの命でなければなりません。日ごとにわたしたちは彼の命の中で救われる必要があります——4 節前半. I コリント 15:45 後半. ローマ 5:10 :
1. 神聖な命の中で救われて、罪の奴隷状態、罪の法則から離れることは、究極的に完成された霊の法則の解放によります——8:2。
  2. 神聖な命の中で救われて、この世の現在の時代から離れることは、究極的に完成された霊の聖別によります——12:2 前半. 6:19 後半, 22 後半。
  3. 神聖な命の中で救われて、わたしたちの天然の存在から離れることは、命を与える霊の造り換えによります——12:2 後半。
  4. 神聖な命の中で救われて、個人主義から離れることは、キリストのからだの中で建造されることによります——5 節。
  5. 神聖な命の中で救われて、自己の様から離れることは、命を分け与える霊の同形化によります——8:29。
  6. 神聖な命の中で救われて、わたしたちの卑しい体から離れることは、神聖な命の美德における変貌<sup>へんぼう</sup>によります——30 節. ペリピ 3:21. ローマ 8:11。
  7. 神聖な命の中で救われることは、神聖な命の中で王として支配することです——5:17。
  8. 神聖な命の中で救われることは、サタンに勝利するという結果になります——16:20。
- B. 新しい人は、わたしたちがキリストをわたしたちの命とし、彼を生きることの自然な結果です——コロサイ 3:3-4, 10-11。

2018年国際華語特別集会のための標語

主の回復の目標は、一人の新しい人(団体の、宇宙的な人)を生み出して、  
神の永遠の定められた御旨を完成することです。

一人の新しい人の実際的な出現に対するかぎ  
(古い人を脱ぎ捨て、新しい人を着ることは、  
わたしたちの思いの霊の中で新しくされることです。

わたしたちは一人の新しい人の団体の生活のために、  
キリストをわたしたちのパーソンとして、  
すべての事でキリストの中へと成長し込み、  
イエスにあるあの実際にしたがってキリストを学ぶ必要があります。

わたしたちがうまずたゆまず祈ることを通して、  
キリストの平安によって支配され、  
そしてキリストの言を住まわせるとき、  
主はわたしたちに浸透し、わたしたちをご自身で置き換えます。  
ついにはわたしたちの天然の区別はすべて除かれ、  
わたしたちは実際において新しい人となります。

2 9 8 (E395)

主よ、わが うちになれを生 かしめた まえ!

日ごとに つみより解き、ち かくいま せや;

か よーわき われーをば、日々 ささえた まえ、

死をも飲 み尽くすながい のちのな かで。

2 ながみひかりによりて 照らされるおり、  
 すべての悪しきおmoi、 消え去りゆけり；  
 われーなにもあーらじ、 なれ万ゆうにます、  
 ねがわくはつねに、主よ、 おしえさとせや。

3 さらに多くあおがせよ、 えいこうの主を、  
 なれ、かくもせいけつと まことに満てり。  
 よろーこびの日ーにも、 くるしみの日にも、  
 生けるみかたちに、主よ、 似させたまえや。

4 うえよりのよろこびに、 われをば満たし、  
 ながれいのちからもて、 われをささえよ。  
 ながーねつれつーなる あいのほのおもて、  
 つらぬき燃やせや、わが うちをくまなく。

5 主よ、みじめなわれをば、 日ごとに去らせ、  
 なれをいのち、めあてと なさせたまえや。  
 ながーみめぐみーもて、 日々つくり変えて、  
 主よ、御名にふさわしき ものとなしませ。

3 5 9 (E474)

めぐみの主イエスと霊にありひとつ;

わがうちに生きるご自身たのしむ。

(復)なれとわれは、まったくひとつ;

ながとみ、わが供給、なれ、わがすべて。

- |   |                          |                       |
|---|--------------------------|-----------------------|
| 2 | ひとなるいのちを、<br>われのせいかつに    | ゆたかな人性を、<br>もちい、たのしむ。 |
| 3 | 十字架にてひとつ、<br>われ、この世に死ぬ、  | ながうちで死ぬ、<br>この世もわれに。  |
| 4 | 復かつにてひとつ、<br>主はいのちの供給、   | いまなれと生く、<br>いまわがうちに。  |
| 5 | しょう天にてひとつ、<br>地じょうでたびびと、 | ともに天に座す、<br>ながうちに生く。  |
| 6 | 御座にありひとつ、<br>いのち得ることで、   | 權威にあずかる、<br>性しつ得るように。 |